

セメント由来

合成樹脂を徹底的に排した無機の重厚感

ドイツ壁を彷彿とさせる厚付塗材ならではの風合い

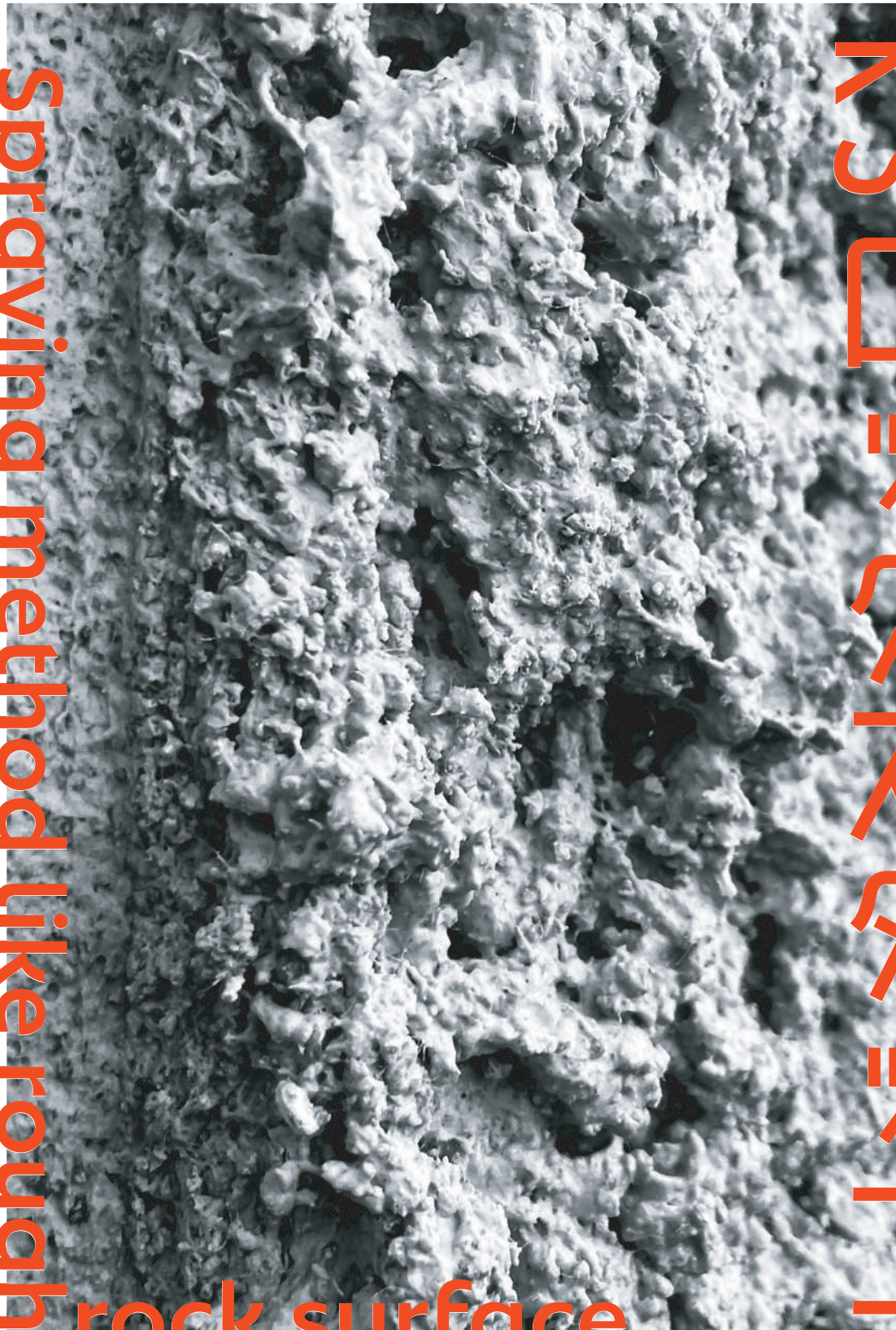
F☆☆☆☆

NSK-2308037

Spraying method like rough

rock surface

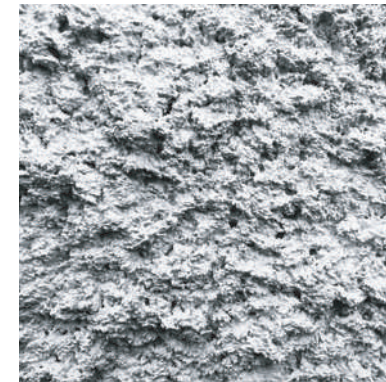
ドイツ壁吹付工法



撥水材加工

無機成分に反応して緻密化し内部に防水層を形成する強力な撥水材を塗布することでエフロレッセンスの発生を抑制します

Pattern and option



Pattern

オバケ

外装用
t=10.00~15.00mm程度



Pattern

小梅

外装・軒天用
t=5.00~8.00mm程度



Option

額縁処理



Option

ヘッドカット(凸部処理)

原則、素材の一つであるホワイトセメント由来の白色になります。

コンクリート、モルタル、PC以外への施工はご相談ください。

本製品は関西圏限定の販売施工になります。

(注)印刷のため、現物とは色や見え方が多少異なる場合があります。実際の色や艶は、見本板でご確認ください。

大正時代から昭和初期にかけて、大工が建築の中心となっていました。その時代に、建築の幅が広がった。その時代に、建築の幅が広がった。その時代に、建築の幅が広がった。

責任施工

菊水化学工業株式会社 大阪営業所 ☎ 06-7668-5320

ホームページ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



●このパンフレットは2023年8月の情報により作製しております。
●このパンフレットに掲載の製品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。
●諸官公庁等の特記仕様がある場合は、それを優先して下さい。

ドイツ壁の歴史

ドイツ壁は大正時代から昭和時代初期にかけて大流行した左官工法です。木張りや塗り壁が外装仕上げの主流だった当時、大きな骨材や顔料を調合したモルタルを柄杓で投げつけたりササラで掃きつけたりで生まれる重厚感のある仕上げは目新しく、高級住宅や公共性の高い建築に取り入れられました。

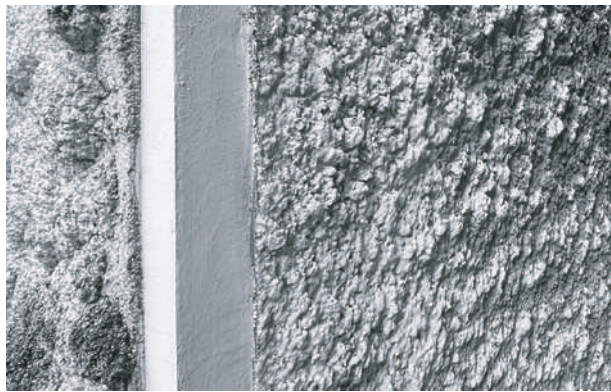
ドイツ壁は現在でも街中で目にすることができますが、その起りは定かではありません。キリスト教布教のため来日した伝道師が伝えた説や、第一次世界大戦で海外派遣された日本人兵がドイツ人集落の建築様式を持ち帰り広めた説がありますが、その歴史を読み解く文献は確認されていません。

ドイツ壁が流行した当時、明確な建築仕上塗材メーカーはまだ存在しなかったため、左官工法ドイツ壁は親方から弟子への口授で広まりました。高度経済成長期の建設ラッシュで大面積の施工性が求められたことや吹付器具の開発、合成樹脂系塗料の台頭によって次第に職人の手技が求められる仕上げは少なくなりましたが、壁に吹付けた塗材が仕上げになるという考え方は今日の吹付塗装の原点といえます。

新しい陰翳

ドイツ壁が流行した時代、照明器具は現在のように普及していませんでした。同時代の文学作品によれば、人々の暮らした陽の光や月明かりがもたらす陰翳とともにあったといえます。

ドイツ壁の荒々しい凹凸模様は陰翳を捉え、職人の手仕事を伝えます。無数の照明が存在する今、当時の意匠をこれからの建築に当てはめたとしたら、どのような空間ができるのでしょうか。



旧八幡郵便局 / ヴォーリス建築事務所 / 大正10年(2022年撮影)

#01 セメントの厚塗り適性

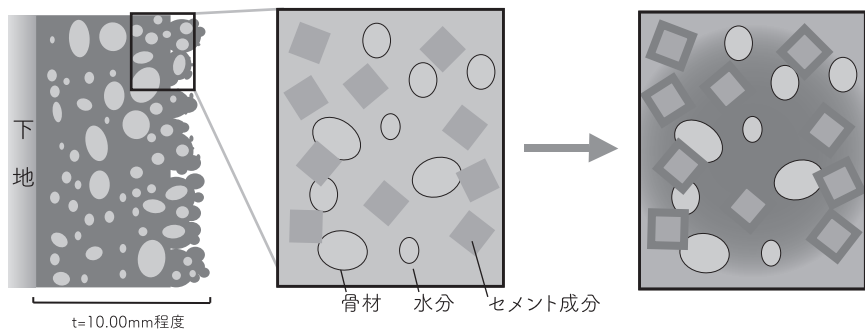
ドイツ壁の主成分であるセメントは、水と反応して硬化する性質を持っており(水和反応)、これは厚みに関係なく一定して起こるため厚塗りに適しています。

また、繊維を入れることで割れにくい設計にしました。

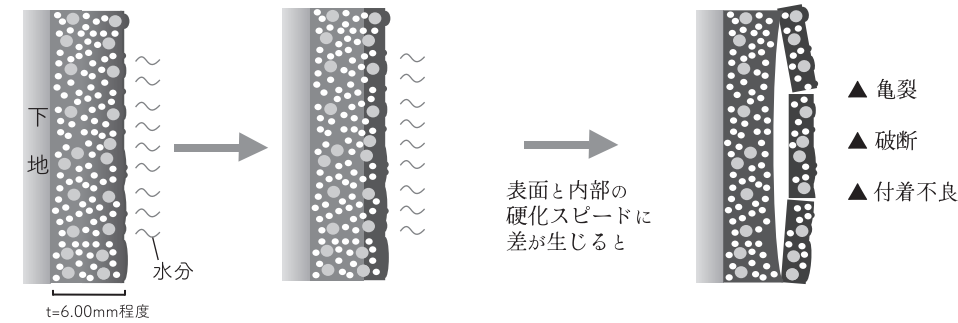
水性の合成樹脂系塗料の硬化は成分中の水分が揮発することと起こるため、厚塗り適性はありません。

合成樹脂系塗料を厚塗りとすると、内部よりも早く硬化した表面が内部硬化時に引っ張られて亀裂が生じたり破断したりします。

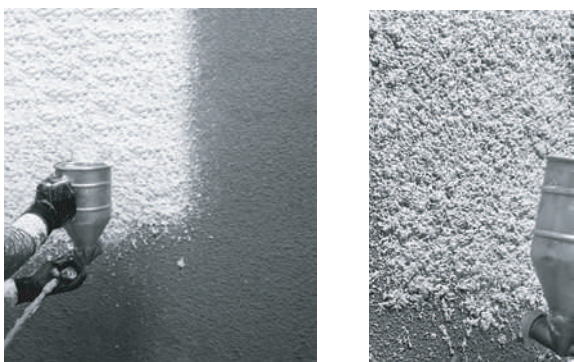
<KSロックスタッコの水和反応による硬化>



<合成樹脂系塗料の厚塗り時の硬化>



#02 吹付施工性の付与



左官工法ドイツ壁の意匠は、元々コテや柄杓、ササラを用いて作られていましたが、それには職人の技量とセンスが求められました。

KSロックスタッコは合成樹脂を全く使用しないドイツ壁と、非常に近い組成にこだわりますが、独特の意匠を汎用性の高いスタッコガンで表現することに成功した製品です。また、飛散を抑えて付着力を高める吹付施工性を付与したことで、内外装での部分使用から野丁場まで一定の品質で仕上げるのが可能です。

他のセメント系厚塗材の吹付に比べて付着力が高く材料ロスが少ないため、廃棄物が少なくすむ分、環境に配慮した製品と言えます(自社製品比)。

#03 風化によるセルフクリーニング機能

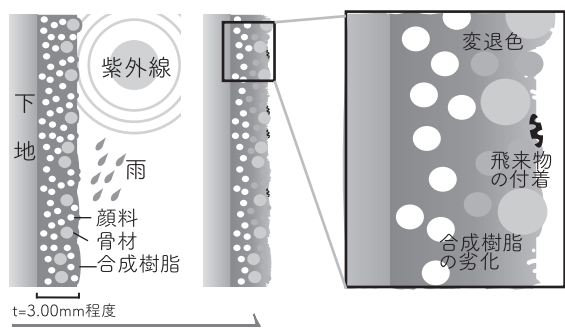
合成樹脂系塗料を構成する分子の結び付きは、紫外線により分解され脆弱化します。合成樹脂の劣化は塗料の変退色や塗膜の摩耗を引き起こし美観を損ねるだけではなく、建物の保護機能を低下させるため定期的な塗替えが必要です。

無機質であるセメントは、合成樹脂のような紫外線劣化の仕方をしません。岩が月日をかけて風化し少しずつ形を変えるように、ドイツ壁の凹凸の表面も時間をかけて風化します。

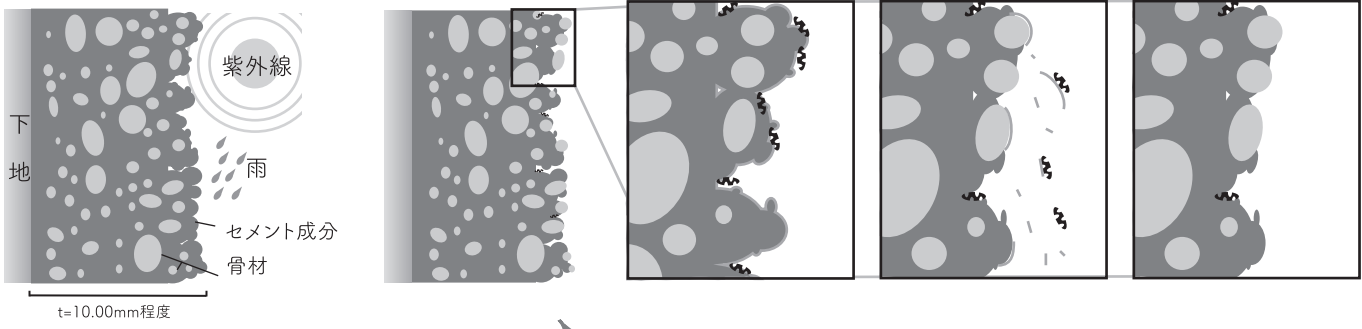
KSロックスタッコの凹凸は非常に大きいため、飛来物が付着することもありません。表面に付着した飛来物は風化したセメント質とともに雨で洗い流されます。

凹凸の奥に蓄積した飛来物は建物の歴史を物語る風格となります。

<合成樹脂系塗料の劣化>



<KSロックスタッコの風化>



ロックスタッコ

防火外壁ロックスタッコは弊社日本スタッコ事業部にゆかりのある南満州鉄道株式会社の子会社、南満鉄業株式会社で製造されていた厚付仕上塗材です。

ドイツ壁の歴史は、この誇り高い伝統を受け継ぐ名称を復活させました。



特許防 火外壁 ロックスタッコ

前記マグネシアセメント(酸化マグネシア)を主材として陸軍多年の研究と経験により木造建築の防火、耐久、美観を主眼として精製されたものがこの「ロックスタッコ」であります。

コンクリート構造物の外装に又殊に木造建築物の防火、一では美観、堅牢を具備せる前に理想的外装であります事は過般の大震災で好く其卓越せる特長を發揮し、眞價を洗く認められた次第であります。

一、主なる特長は

- 一、急硬性でありますから工期が短縮されます。
- 二、暖冬の候でも凍結せず完全に工事が出来ます。
- 三、防熱、防火、保温性であります。
- 四、密着力が強大でありますからごんな下地にも塗れ而も硬度が高いから構造物を一層堅牢にします。
- 五、龜裂、剝脱する様な事は決してありません。
- 六、色彩が自由に出来ます。
- 七、木造下地ならば三四層にて約五分厚コンクリート地ならば下、上の二回塗にて約四分位が適當であります。
- 八、色相は白、茶、灰、黄、桃、緑等であります。